

今の時代でもノートを使って取材していることを知って驚きました。事件や
会見以外にも、自分が気になったニュースなども取材できると言っていたので、少し
興味を持ちました。また、主観的な考え方と客観的な考え方を両方使って記事を作
っていることに、自分も自分の意見や感想を書くときに、大事にしなければならな
いと感じました。小学校の頃に、記事が作られるまでの工程を見させてもらった
のは別に、取材して記事にするまでの過程を知れておもしろかったです。

(2) 年 () 組 () 番

ふりがな

名前 ()

記事を見直しをするのは、誤字脱字を確認するだけじゃなくて、誤った情報を流さないため、客観的に
見てもらうためだということも初めて知りました。こういった作業、行動は、新聞を書く以外のことに
大切じゃないのかなと思いました。現代にあった新聞のデジタル化などをしてるけれど、取材の
時は、ノートとペンでメモをとるというお話を聞いて、現代にあわせて進化はしてるけれど、大事な
ことは昔ながらの方法を大切にしているすごく素敵なおやり方だと思いました。記者の方のお話を聞いて、色々な事
に興味をもち、その事をいろんな面から考えていくことが大切だということも学びました。

(2) 年 () 組 () 番

ふりがな

名前 ()

新聞づくりはとても単純だと思っていました。ただかたただけではなく、デスクに確認してもらったり、とことん掘り下げてかくのは大変だと思います。でも時間をかけて、より丁寧につくることで、読み手によく伝わるし、わかりやすくなります。そして、話を聞いて、「読む人のことをよく考えてかく」ということが伝わってきました。その場の状況（におい、人の様子、建物の様子）を細かくかいてくれていることもすごくわかりやすく、ありがたいと思います。たった1枚、たった何文字のために、これだけ苦労してくれていることに感謝していただきたいです。そして、もっといろんな出来事と触れ合う、新聞を読む時間も大切にしたいです。

(2) 年 () 組 () 番

ふりがな

名前 ()

新聞が自分たちの元に届くまで、何回も誤字・脱字・表現の間違いなどチェックを
していると知り、限られた時間の中でい仕事をするのは、プレッシャーがあるし、難しいことだ
と思うのにすこいと思いました。今はネットで簡単に情報が世界に発信する一方で、間違っ
た情報が出回っていたり、事実であっても、信憑性に欠けるので、決定的な証拠がな
いと、発行しないし、間違えた情報を伝えてはいけないという緊張感を持っている新聞は
読み手が安心できると思いました。

(3) 年 () 組 () 番

ふりがな

名前 ()

新聞外でも、できるのか今まではあまり知らなかったけど

今回知る事ができた。大変だと思う。現地に行、て話を聞いて、

それを文章にして 4...7してもし、どの紙面に記事するか 僕たちが

見るのは全てが終わった後で、何もそのような努力を知らなかった。

だからこそ感謝して新聞を読みたい。

(3) 年 () 組 () 番

ふりがな

名前 ()

親聞の皆さまから様々なことを教えてくださりありがとうございました。

新聞記者として必要なスキルがこんなにもたくさんあると知りビックリしました。新聞

は、一日の出来事やニュースが読む紙となる訳だから、1日のうちに急いで

記事を書かないといけないにもあるので、記者さんは、多忙な日々を送っているんだと知

りました。「一番シャッターを撮りたいときはどんなときですか？」という生徒の質問で

記者さんが「子どもが楽しそうにしている所」と答えていて、感動しました。

新聞記者という仕事はさまざまが社会のことが(3)年()組()番

ひとあれ早く知れて、自分が知りたいことを
さまざまの人に聞き解決できたりするから
大変なことも多いけど、やりがいを感じるような

名前 ()

仕事なんだろうなと感じました。